

# 現場力を強める 職場規律遵守（決められたことを守る）

## 強い職場づくり、優れた製品づくりを支える 規律遵守の徹底に粘り強く取り組もう

職場にはさまざまなルールがあります。安全を確保するための規則、高品質の製品を効率よくつくるための作業標準、ミスなく、また気持ちよく仕事をすすめるための規律など、守るべきルールは多様です。

「ルールを守るのは当たり前のこと」と誰もが考えているはずですが。ところが、すべてのルールが完璧に守られている職場など存在しないのが現実です。

ルールが守られないのは、本人がルールを知らないからかもしれません。知ってはいても、つい破ってしまうということもあるでしょう。管理監督者は、実にさまざまなケースに遭遇し、悩むことも多いに違いありません。

このテキストでは、現場で発生するであろう20あまりの事例を取り上げています。事例研究で大事なことは、いずれも自分の職場に引き寄せて「自分だったらどうするか」を深く考えることです。そして、そこに示された原則や考え方を“実践”に展開するのは、あなた自身です。

管理監督者は、メンバーを効果的に指導し、ルールが守りやすいしくみを工夫し、また自律的にルールが守られるような職場風土をつくりあげていなくてはなりません。きちんとルールが守られ、秩序が保たれ、誰もが生き生きと働いている職場というのは、士気が高く、生産性も高いものです。そこでは、「良いものをつくろう」という意思が共有され、実際に顧客満足度の高い、優れた製品が生み出されています。

規律遵守を徹底することが、競争に勝ち抜く、強い職場づくりと優れた製品づくりにつながるのです。粘り強い取り組みを期待します。

## 目 次

はじめに .....	3
<b>第Ⅰ部 小さなルール違反が大きな問題を引き起こす .....</b>	<b>5</b>
<b>第1章 管理監督者は小さなルール違反を見逃すな .....</b>	<b>6</b>
1. ルール違反はこんなにたくさんある .....	6
2. 気づかずに見逃している場合の問題 .....	9
3. 気づいているのに見て見ぬ振りをしている場合の問題 .....	12
<b>第2章 守るべき規律・ルールは何かを再確認しよう .....</b>	<b>14</b>
1. もう一度就業規則を読み直そう .....	14
2. 「絶対にやってはいけないこと」と「絶対にやらなければならないこと」…	17
3. 職場に固有のルールをどう徹底するか .....	22
<b>第3章 本当に大事なことは日常の基本動作の徹底 .....</b>	<b>25</b>
1. 仕事の基本動作はそんなに多くない .....	25
2. 管理監督者は正しい行動基準を示せ .....	29
3. 自分の立場と役割を踏まえて行動する .....	32
<b>第4章 管理監督者の率先垂範がけじめある行動を促す .....</b>	<b>34</b>
1. 身をもって手本を示すことの重要性 .....	34
2. 注意の仕方ひとつで効果は変わってくる .....	38
3. 職場の人間関係を良くすることも大事 .....	41
*研究課題 .....	44
<b>第Ⅱ部 職場規律の遵守が責任ある行動を喚起する .....</b>	<b>45</b>
<b>第1章 難しく考えずに当たり前の行動を徹底する .....</b>	<b>46</b>
1. 気持ちのよい挨拶が職場規律遵守の基本 .....	46
2. まず徹底すべき「時間」のけじめ .....	49
3. 勤務中の私語や理由のない離席を禁止する .....	52
4. 働きやすい服装と作業用保護具の着用の徹底 .....	56
5. 指示命令の徹底と「報連相」の励行 .....	58
<b>第2章 お互いに職場規律やルールを守る習慣をつくる .....</b>	<b>63</b>
1. 決められたことをきちんと守るためのルールづくり .....	63
2. 押しつけではなく自主的な約束事に .....	65
3. 良好なチームワークは規律維持の基本 .....	67
<b>第3章 一人ひとりの責任ある行動が良い職場環境をつくる .....</b>	<b>70</b>
1. 仕事に対する「責任意識」を高める .....	70
2. 仕事に対する「目標意識」を高める .....	73
3. 仕事に対する「協働意識」を高める .....	75
<b>第4章 ルール違反3つのパターンへの対処 .....</b>	<b>77</b>
1. 知らないからできない（教えていないからルールを守らない） .....	77
2. 知っていてもできない（わかっているができない） .....	83
3. 知っているのにやらない（わかっているてもやらない） .....	85
*研究課題 .....	87

# 第 I 部

---

小さなルール違反が  
大きな問題を引き起こす

## 1

# 管理監督者は 小さなルール違反を見逃すな

## 1. ルール違反はこんなにたくさんある

### (1) 仕事は連携と協働で成り立っていると理解させる

協働

仕事の現場は“**協働**”の場です。たとえば、工場では生産活動を支えるさまざまな部門の人たちが、お互いに協力しながら製品をつくり出しています。製造部門のほか、資材調達、品質管理、保守点検そして営業部門など、異なった部門がそれぞれの職務を遂行することによって製品がつくられていきます。部門ごとに仕事の内容は違っていても、バラバラに機能しているのではなく、必ず**連携**をとっています。

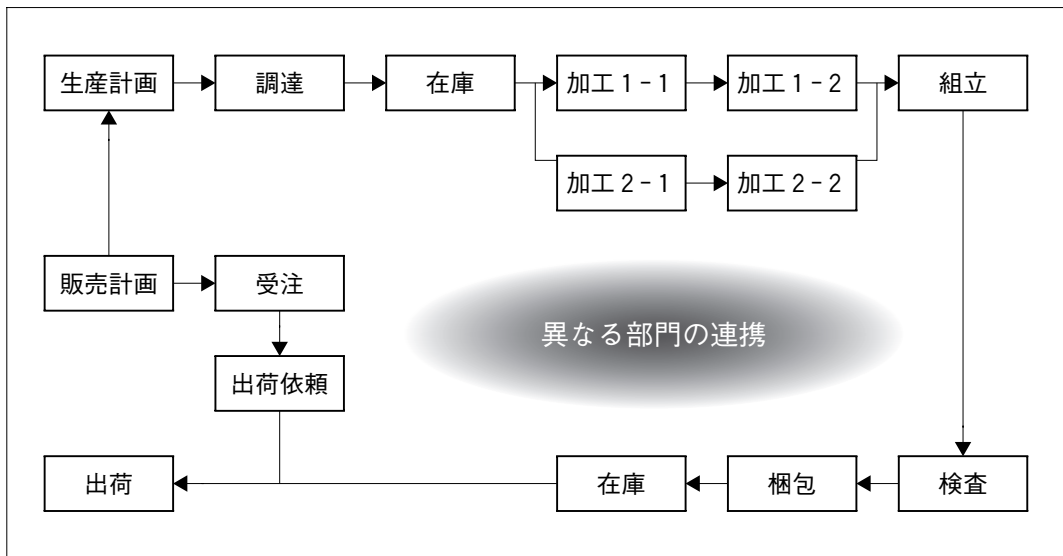
連携

加工をはじめするためには、資材倉庫や部品棚に必要な材料がそろっていないければなりません。上流工程から下流工程にいたる間に、それぞれの工程で**付加価値**が加えられていきます。検査部門では中間検査や最終検査を行いますし、営業部門のがんばりがなければ売上げも確保できません。

付加価値

各部門が専門性を発揮しながら、互いに協力して働くわけですが、このことを「**協働**」(コラボレーション)といいます。円滑な協働が行われるためには、**共通のルール**に沿って工場全体が動くことが必要です。

共通のルール



図表 I・1 職場間の関連（連携）チャートの例

図表 I・1 に、少し面倒なチャートを示しましたが、各セッションがどのように連携し協働しているかをメンバーたちに理解させておくことは、**規律遵守を意識づける**うえで大切です。

規律遵守を  
意識づける

もし、みなさんの仲間がルールを無視して自分勝手なやり方で仕事をしたらどのようなことが起こるでしょうか。

始業点検をするというルールがあるのに面倒だからと怠ると、設備の不具合を見逃して、1日に何度も機械が停止してしまうことになります。決まって会議の集合時間に遅れたり、会議が白熱している最中でも自分の仕事があるからと途中退席する人がいたりすると、**職場の和**が乱れ、いやな雰囲気になってしまいます。

職場の和

このように、自分勝手な理由でルールを破る人が増えてくると、しだいにチームワークが乱れ、協働の精神が失われてしまいます。職場間の助け合いが妨げられるといろいろな弊害が生じます。上流工程と下流工程の同期化が崩れてムダが多くなったり、加工ミスが増えてきたりします。その結果「すぐれた品質の製品をつくり続ける」という工場の目的が達成できなくなってしまいます。

## (2) こんなことがなぜ守れない？

一般に職場内のルールとして、次のような項目があげられます。